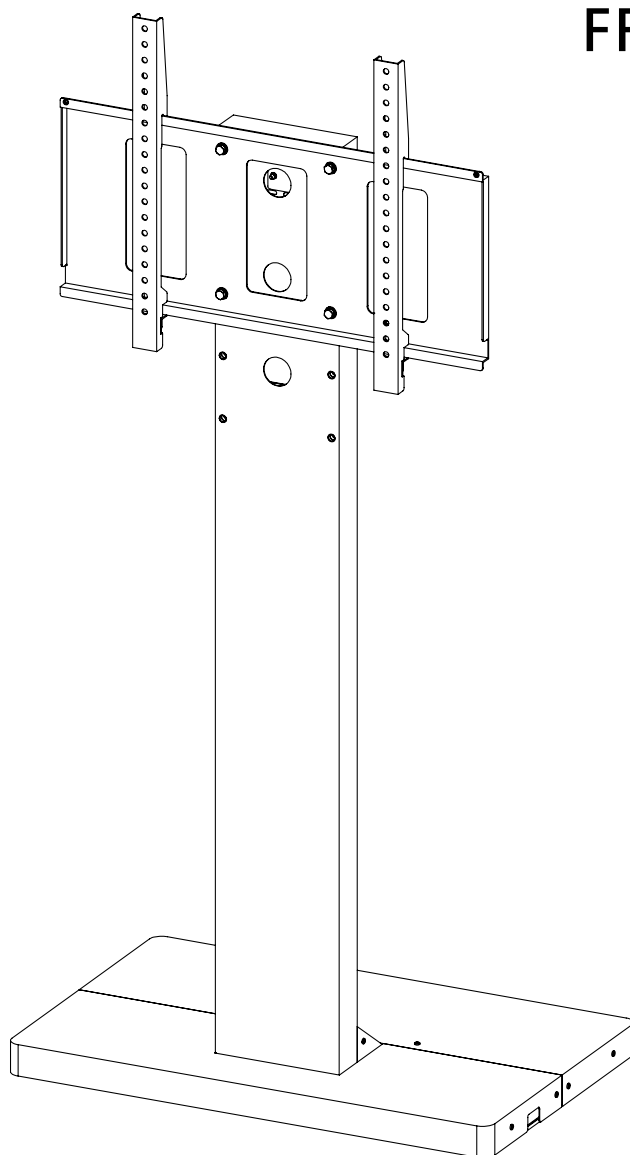


## 取扱説明書

窓寄せスタンド  
アンカーレスタイプ

型番  
**FFP-KBS-AL-35**



お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
- 特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。



# 目次

■ 安全上のご注意	1-2
■ 製品概要	3
■ 梱包内容	3-4
■ 「ベースカバー(前/後)」を「底板」から取り外す	5
■ 「耐震マット」を「底板」に貼り付ける	6
■ 「底板」を「支柱」に取り付ける	7
■ 「ブラケット受け」を「支柱」に取り付ける	8
■ 「底板」を設置場所に据え付ける	9
■ 「ウェイト」を「底板」に設置する	10
■ 「ブラケット」をディスプレイに取り付ける	11
■ ディスプレイを「ブラケット受け」に取り付ける	11-12
■ ケーブルの配線処理について	13
■ 「ベースカバー(前/後)」を「底板」に取り付ける	14
■ 「クッションゴム」をディスプレイに取り付ける	15
■ 保証書	16





## 安全上のご注意

必ずお守りください










お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次の表示で区分しています。

 <b>警告</b> この表示の欄は「死亡または重症を負うことが想定される危害の程度」です。	 <b>注意</b> この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。
--	---




お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、絶対にしてはいけない「禁止」内容です。	 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。	 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
 この絵表示は、指に気をつけていただきたい「注意」内容です。	

## ⚠ 警告

-  本製品の耐荷重を超えるディスプレイは取り付けしないでください。耐荷重を超えた質量のディスプレイを取り付けると、ディスプレイの落下・破損など事故の原因となります。
-  壊れた部品を使用しないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。万一、部品が壊れた場合には販売店にご相談ください。
-  ディスプレイを本製品に取り付け、取り外しする際は、必ず2人以上で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  使用中にジョイント部やネジのゆるみ、がたつきが生じた場合は、必ず締め直し、直らない場合は使用を中止してください。ゆるみやがたつきがあるまま使用すると本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  人為的な損害や天災などにより窓ガラスの破損が発生した場合は当社は一切の保証をいたしません。
-  ディスプレイの設置後は、メンテナンス時以外にネジをゆるめたり、はずしたりしないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  本製品の改造・変更は行わないでください。金具やディスプレイ落下などによる破損・けがの原因となります。
-  本製品を設置する際は、ディスプレイと窓ガラスの距離を150mm以上空けるようにしてください。ディスプレイと窓ガラスの接触などによる破損・けがの原因となります。
-  耐震マットは地震・転倒の被害を最小限に抑えるためのものです。本製品使用により発生した損害事故や地震による損害に対して当社が責任を負うものではありません。

## ⚠ 注意

-  本製品を設置する際は、揺れや振動の多い場所には設置しないでください。本製品やディスプレイの落下などによる窓ガラスの破損・けがの原因となります。
-  安全確保のため、ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。
-  取り付ける床面には十分な強度があることを確認してください。ディスプレイ・本製品の質量に長時間耐えうることを確認してください。

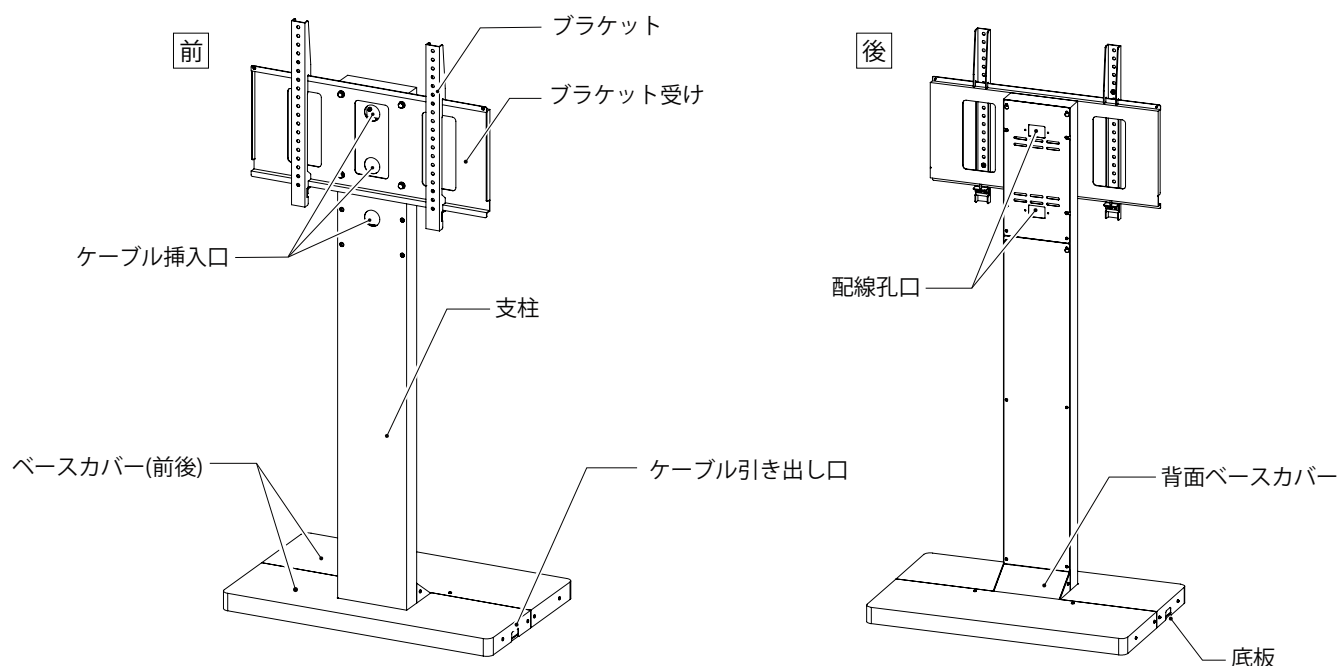
本製品は生産より出荷に至るまで厳重に検査しておりますが、万一製品に破損またはご使用に支障をきたす場合は、まことに恐れ入りますが購入先または下記宛先までお問合せください。

日本フォームサービス株式会社

電話：03-3636-0011(代表) ホームページ：<https://www.forvice.co.jp> メール：[marketing@forvice.co.jp](mailto:marketing@forvice.co.jp)

## 製品概要

### 窓寄せスタンド アンカーレスタイプ









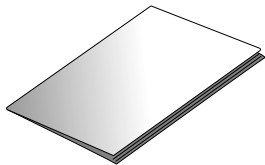
型 番	FFP-KBS-AL-35
質 量	約84.0kg
耐荷重	35kg

## 梱包内容

### 部品・付属品

<p>支柱 (背面ベースカバー付)…1個</p>	<p>ブラケット受け(落下防止ネジ付)…1個</p>	<p>ブラケット…2本</p>	<p>ベースカバー(前/後)+底板…1式</p>
	<p>ウェイト…10枚</p>	<p>耐震マット(4枚入)…2セット</p>	<p>クッションゴム…4個 ※両面テープ付属</p>

## 部品・付属品

 <p>六角穴付き皿ボルト (M8×20)…4本</p>	 <p>六角トリーマP=3 (M8×20)…4本</p>	 <p>ナベセムス P=3 (M6×18)…4本</p>	 <p>ナベセムスP=3 (M8×18) …4本</p>	 <p>ナベセムスP=3 (M8×20) …4本</p>
 <p>M6 取り付け用スペーサー …4個</p>	 <p>取扱説明書 … 1部</p>			

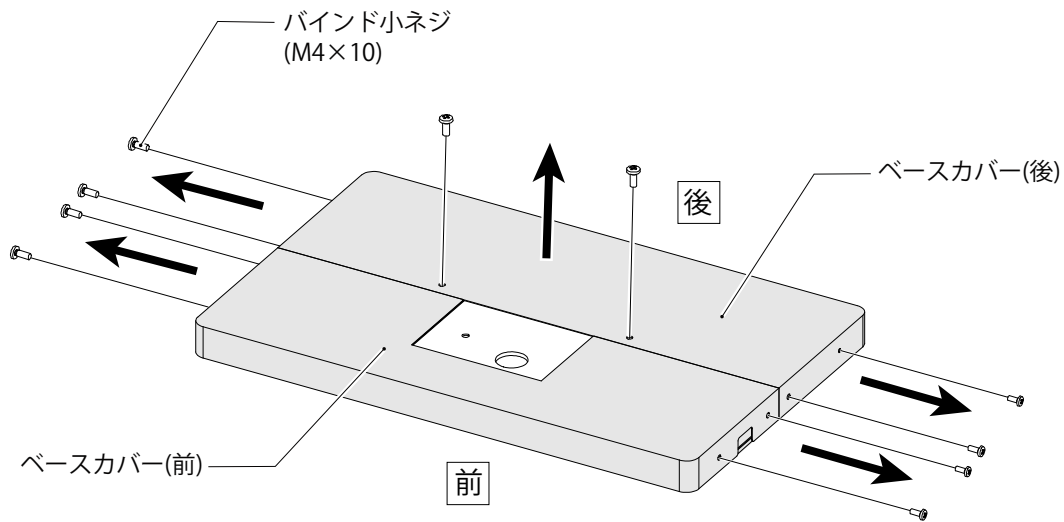
※工具は付属しておりませんので、お客様や設置する方でのご用意となります。

## 「ベースカバー(前/後)」を「底板」から取り外す

1. 「ベースカバー(前後)」に取り付けられている「バインド小ネジ(M4×10)」10本を取り外します。

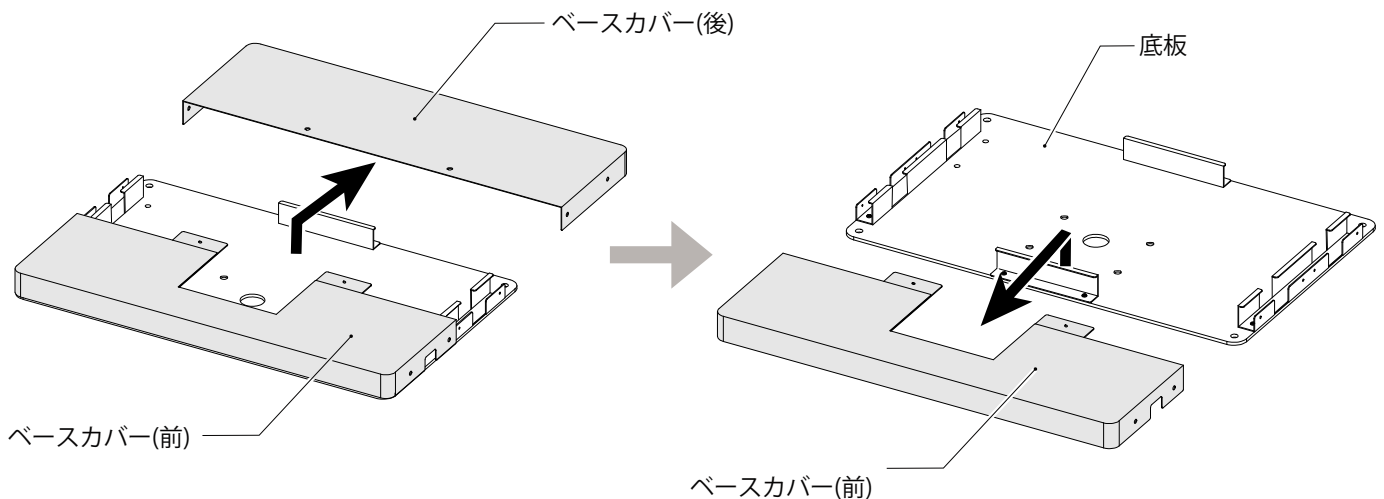
使用する工具

プラスドライバー



取り外したネジに関しては無くさないようにお客様自身でわかりやすい場所に保管してください。

2. 「ベースカバー(後)」を「底板」から取り外し、そのあとに「ベースカバー(前)」を取り外します。

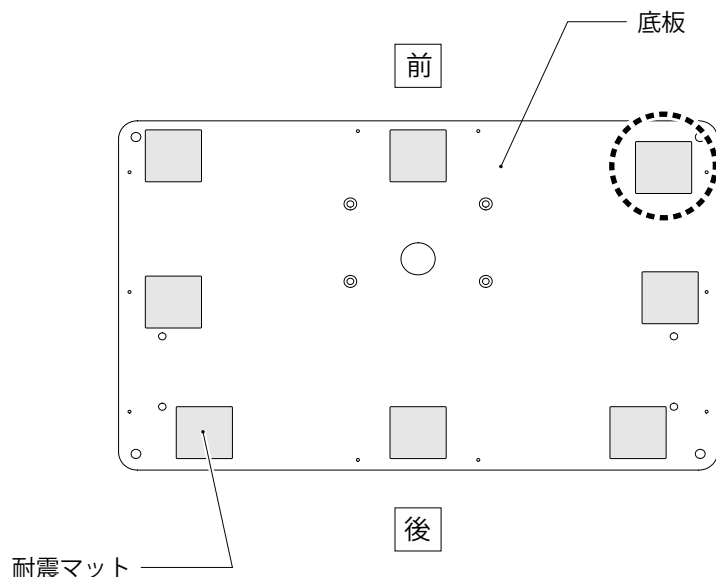


## 「耐震マット」を「底板」に貼り付ける

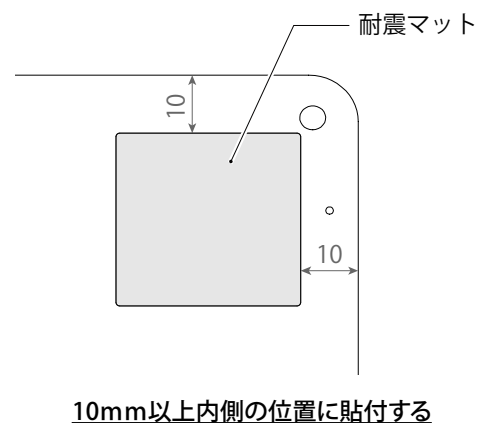
1. 「底板」の裏側に「耐震マット」8枚すべての位置合わせを行います。
2. 「耐震マット」の保護フィルムを剥がし、決めた位置に貼り付けてください。

※ 床面に貼る側の保護フィルムはこの段階では剥がさないでください。

底板を裏側からみた図



貼り付ける位置の目安



荷重が掛かると耐震マットが伸びて広がるため、必ず端より内側の位置に貼付してください。



耐震マットを貼付する際、設置面積が不十分の場合は十分な粘着力が得られません。設置面とマットと全面粘着するように位置合わせを行ってください。



耐震マットは一度貼り付けると剥がしづらくなります。底板への貼り付ける作業は慎重に行ってください。

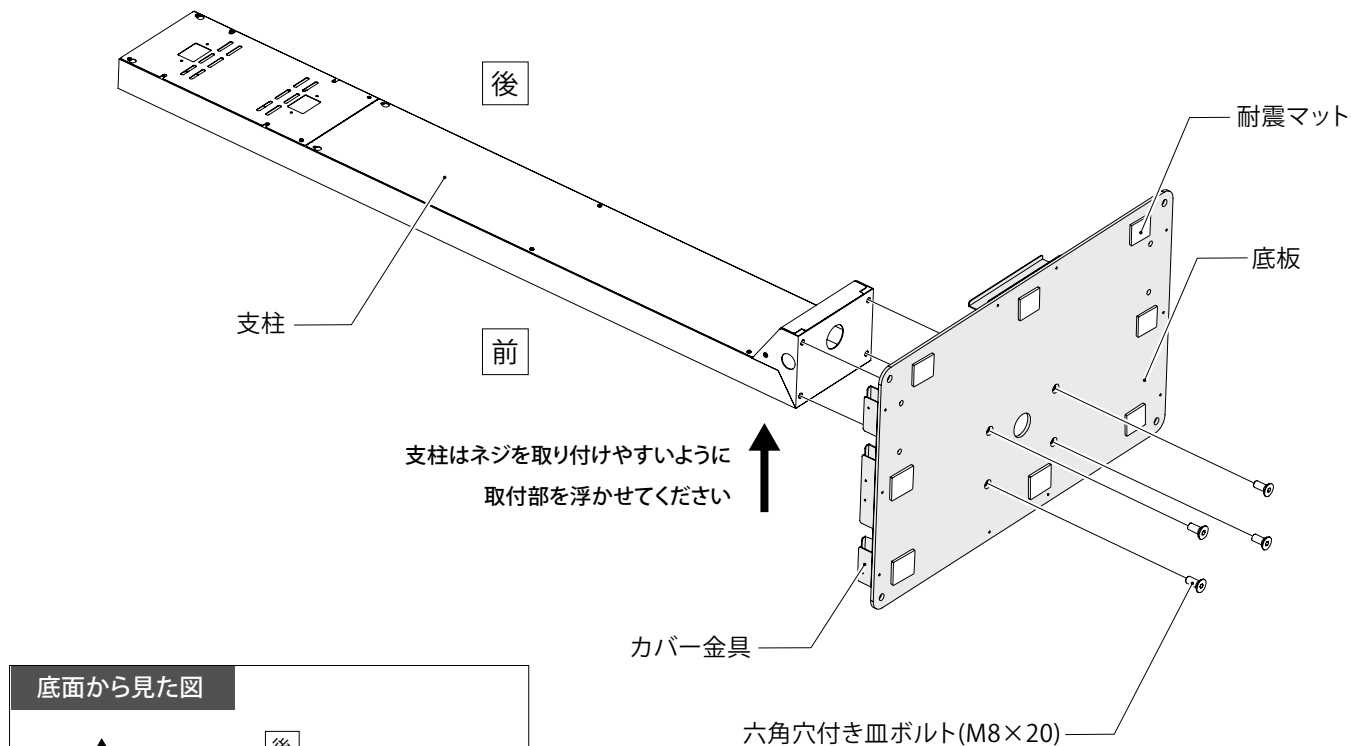
## 「底板」を「支柱」に取り付ける

「支柱」の背面を上に向けた状態にします。

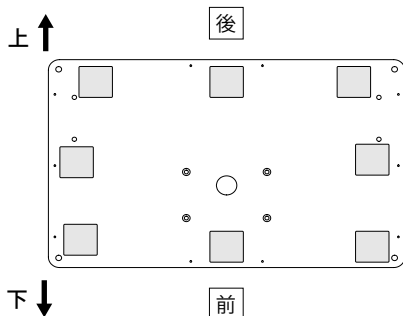
「底板」の向きを間違いないように「支柱」の底面と穴の位置を合わせて、「底板」に「六角穴付き皿ボルト (M8×20)」4本を取り付けてください。

## 使用する工具

六角レンチ ( 対応 5mm)



### 底面から見た図



ネジを確実に締め付けてください。支柱の転倒やディスプレイの落下による破損・けがの原因となります。



底板に取り付けられたカバー金具の切り欠き部分にご注意ください。指をけがする恐れがあります。



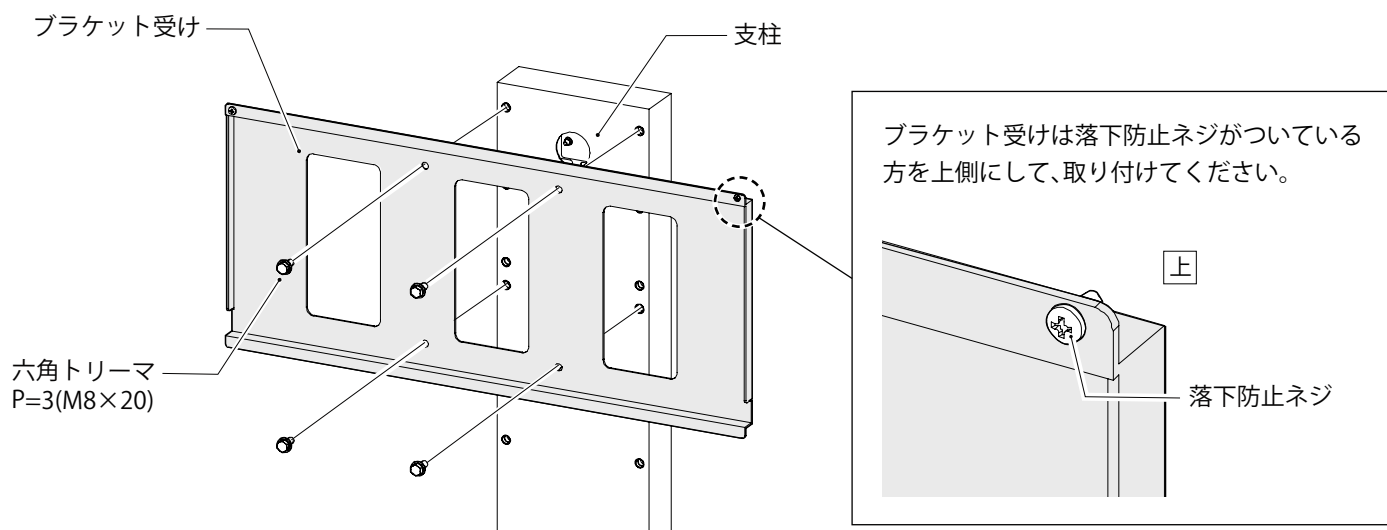
## 「ブラケット受け」を「支柱」に取り付ける

固定した「支柱」に「ブラケット受け」を「六角トリーマP=3(M8×20)」4本で取り付けてください。

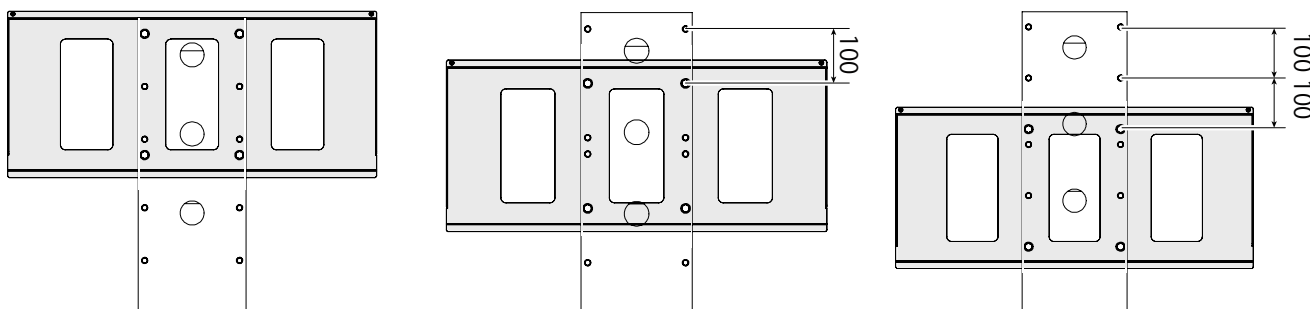
※「ブラケット受け」の取り付け高さは、100mmピッチで3段階の高さ調節が可能です。

使用する工具

スパナ (対辺 13mm)



### 3段階の高さ調節



ネジを確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下による破損・けがの原因となります。



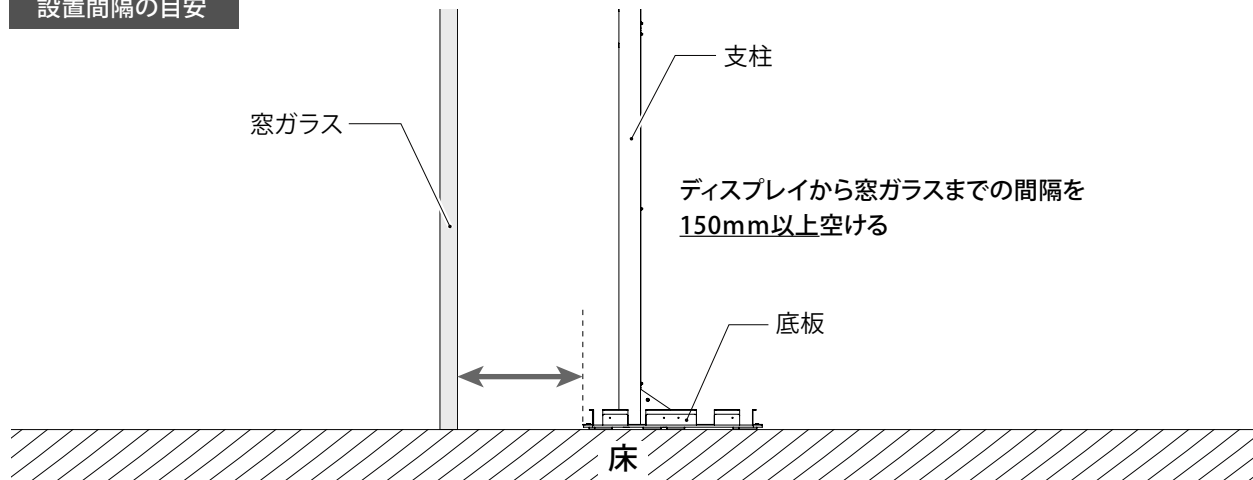
ブラケット受けの上下向きに注意

## 「底板」を設置場所に据え付ける

1. 「底板」を据え付ける前に、設置場所を確認します。下図を参考に設置場所を決めてください。

※ 設置場所がセロハンテープなど粘着する場所かを確認してください。

### 設置間隔の目安

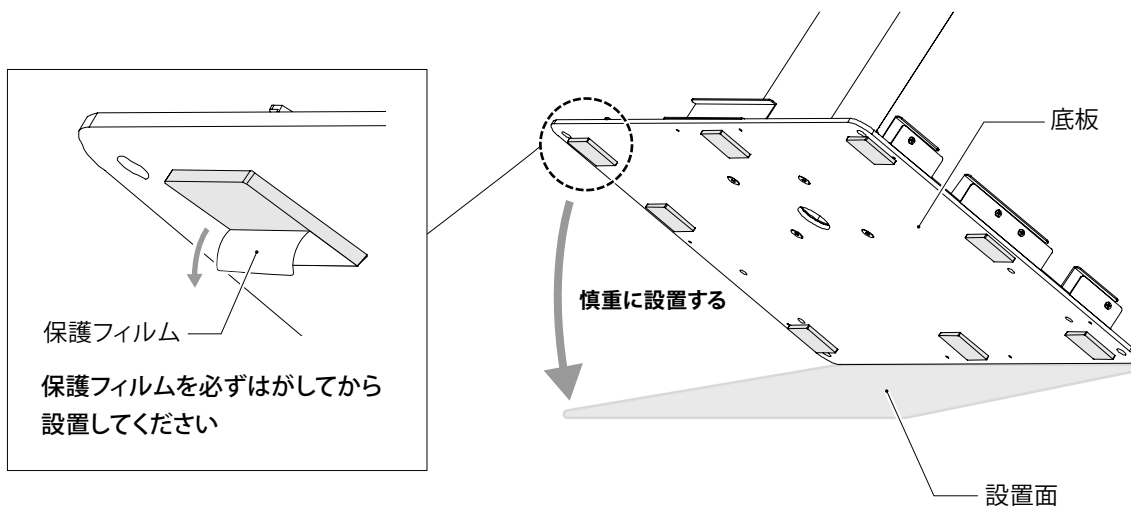


2. 設置場所に水分・油污れ・ホコリなどがいないかを確認し、ある場合はきれいに取り除きます。

3. 「耐震マット」の保護フィルムを剥がし、「底板」を設置場所に据え付けます。

※ 耐震マットは強力のため、設置面に据え付ける際は慎重に行ってください。

※ 設置後は耐震マットの粘着を安定させるために、しばらく触れないでください。



設置後、スタンドの水平および不安定な揺れがないかを確認してください。



設置する際は、ディスプレイから窓ガラスまでの距離を150mm以上空けて設置してください。ディスプレイと窓ガラスの接触などによる破損・けがの原因となります。



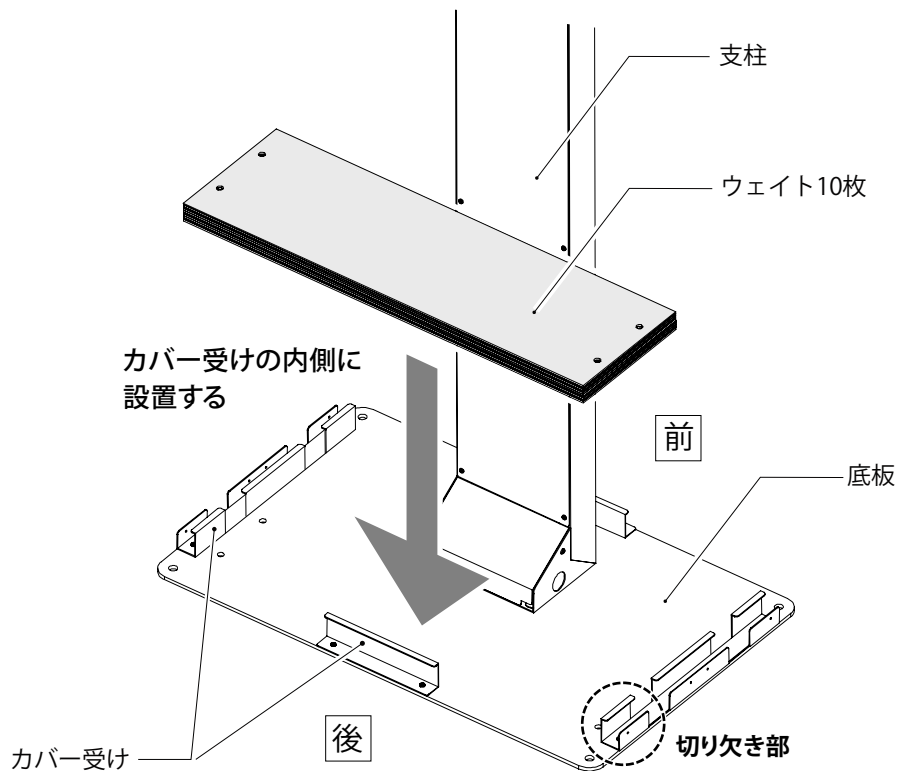
耐震マットは一度貼り付けると剥がしづらくなります。設置面への貼り付けの作業は慎重に行ってください。



耐震マットは、カーペット、絨毯、畳、コンクリート、木板、フッ素加工樹脂、撥水加工、防汚加工された床、高湿度環境、水回りには設置できません。

## 「ウェイト」を「底板」に設置する

- ・設置場所に据え付けた本製品をより安定させるために、必ず「ウェイト」10枚を「支柱」背面側の「底板」に1枚ずつ設置してください。



ウェイト1枚あたりの重量…約4.0kg



カバー受けの切り欠き部で手を切らないように  
気を付けてください。



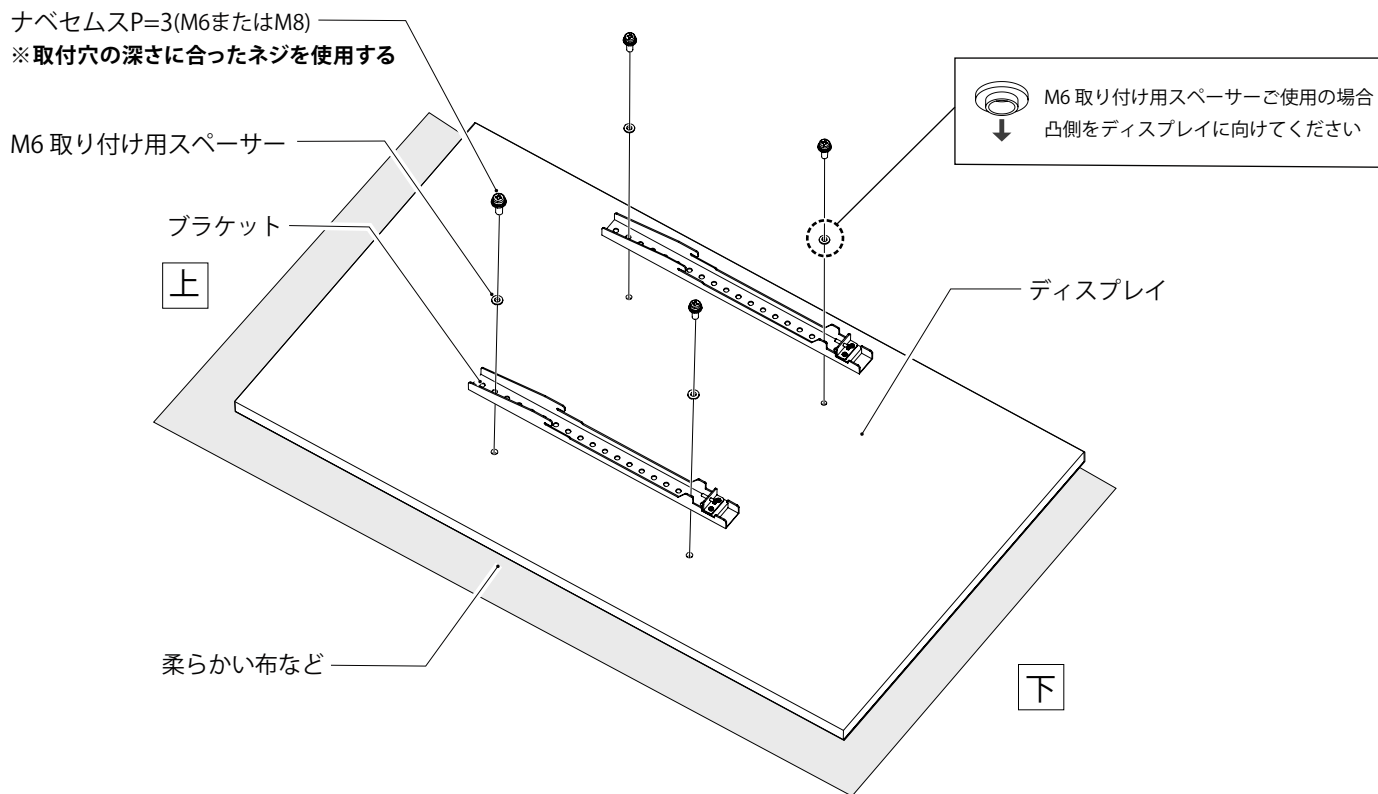
ウェイトを底板に設置する際は、手を挟まないように  
気を付けてください。

## 「ブラケット」をディスプレイに取り付ける

1. ディスプレイは画面を下にした状態で柔らかい布などを敷いた平面に寝かせます。
2. 付属の「ナベセムスP=3」で「モニターブラケット」をディスプレイに取り付けてください。  
ネジは付属の「ナベセムスP=3 (M6×18 / M8×18 / M8×20)」の中からディスプレイの取付穴の深さに合ったネジを選定してください。  
※ M6のネジを使用する場合のみ付属の「M6取り付け用スペーサー」をご使用ください。

使用する工具

プラスドライバー



ディスプレイはタテ・ヨコどちらの方向にも取付可能です。



ネジを確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下による破損・けがの原因となります。



取付の際は、取付穴の深さをご使用のディスプレイの取扱説明書・メーカーのホームページなどでご確認の上、深さにあったネジの選定をしてください。



ディスプレイを寝かせる際は、凹凸のない平らな面に柔らかい布などを敷いて、取付を行ってください。画面に異常をきたす原因となります。

## ディスプレイを「ブラケット受け」に取り付ける

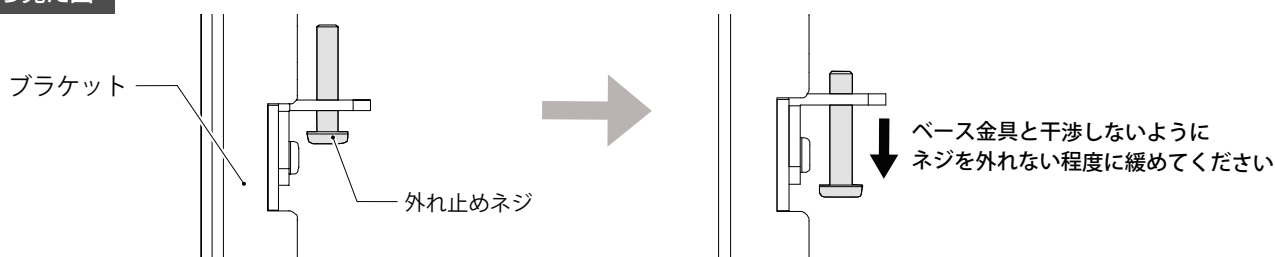
ディスプレイを「支柱」に設置した「ブラケット受け」に側面からスライドして取り付けます。

1. 「ブラケット」下部についている「外れ止めネジ」を緩めます。

使用する工具

プラスドライバー

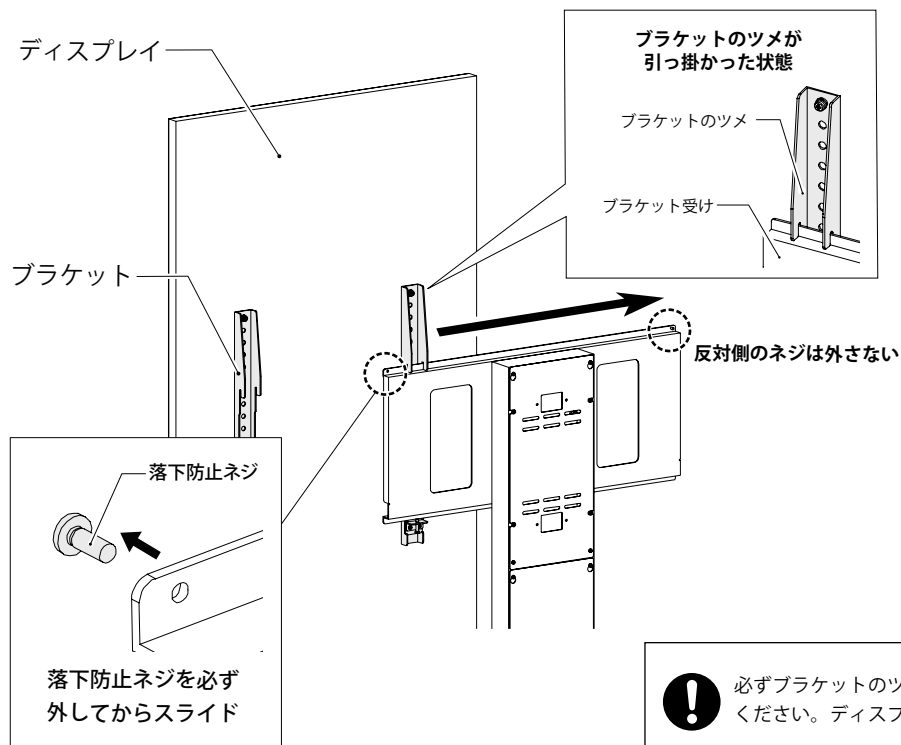
側面から見た図



# ディスプレイを「ブラケット受け」に取り付ける

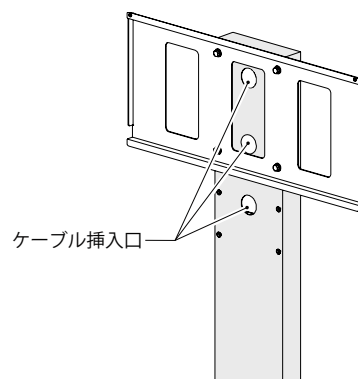
つづき

2. 緩みを確認してから「ブラケット受け」の取り付け側上部の「落下防止ネジ」を外します。  
※取付部の反対側に付いている「落下防止ネジ」は緩めないでください。
3. ネジを外した側面側からディスプレイを「ブラケット受け」に引っ掛け、スライドさせます。



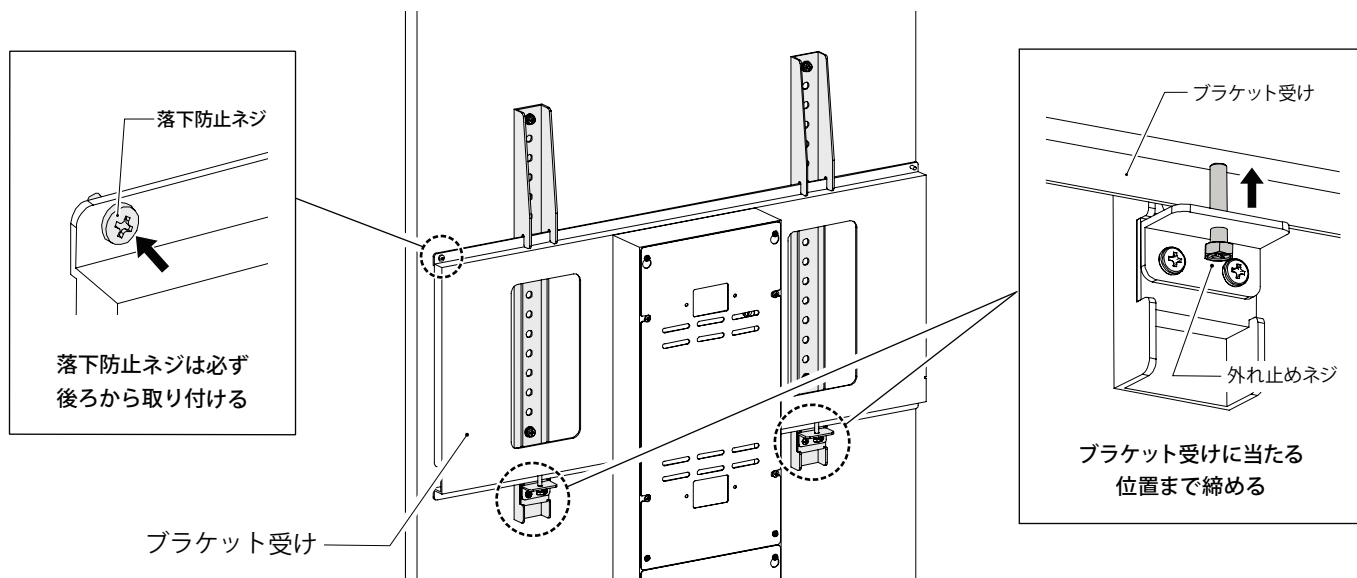
## ディスプレイケーブルの配線の仕方

ディスプレイからのケーブルは「支柱」にある「ケーブル挿入口」に通してください。



必ずブラケットのツメがブラケット受けに引っ掛かっていることを確認してください。ディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

4. 取り付け後、「ブラケット」下部の「外れ止めネジ」を「ブラケット受け」に当たる位置まで確実に締めてください。
5. ディスプレイが落下しないよう、2. で取り外した「ブラケット受け」上部の「落下防止ネジ」を後ろから取り付けてください。



ネジは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



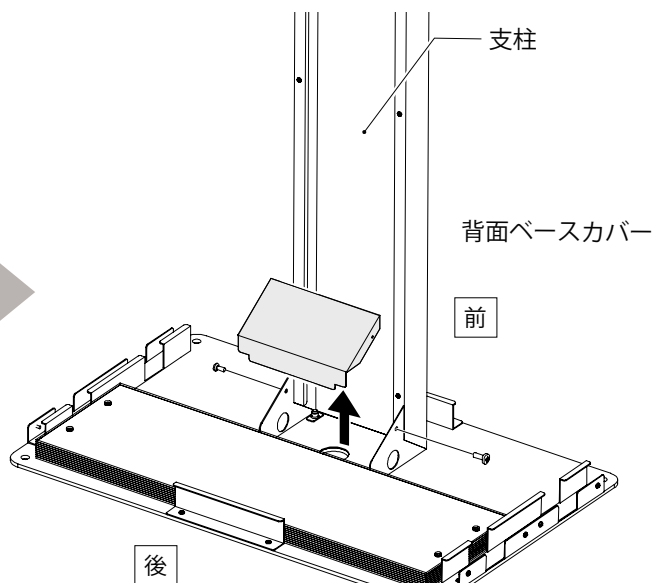
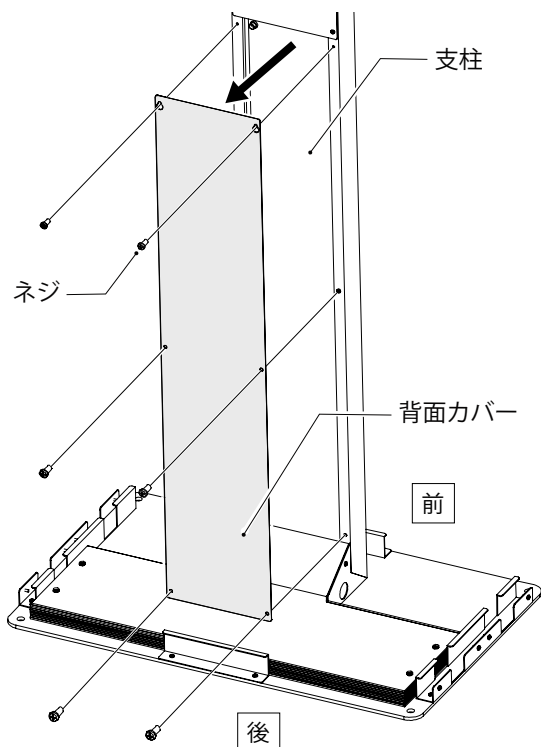
設置後、落下防止ネジは必ず取り付けてください。ディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

# ケーブルの配線処理について

1. ディスプレイケーブルの配線処理を行います。配線しやすいように、スタンド本体の「背面カバー」と「背面ベースカバー」を取り外します。

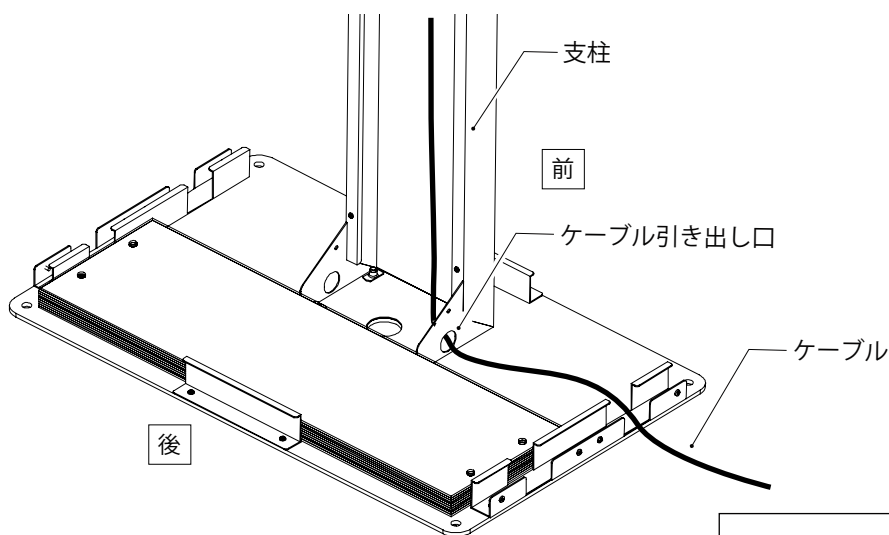
使用する工具

プラスドライバー



取り外したネジに関しては無くさないようお客様自身でわかりやすい場所に保管してください。

2. ディスプレイのケーブルを「支柱」下部の「ケーブル引き出し口」に通して外に出します。



ディスプレイからのケーブルはコンセント位置に応じて、左右どちらかのケーブル引き出し口へ配線してください。

3. 配線後は、「背面ベースカバー」「背面カバー」の順に再度、取り付けてください。



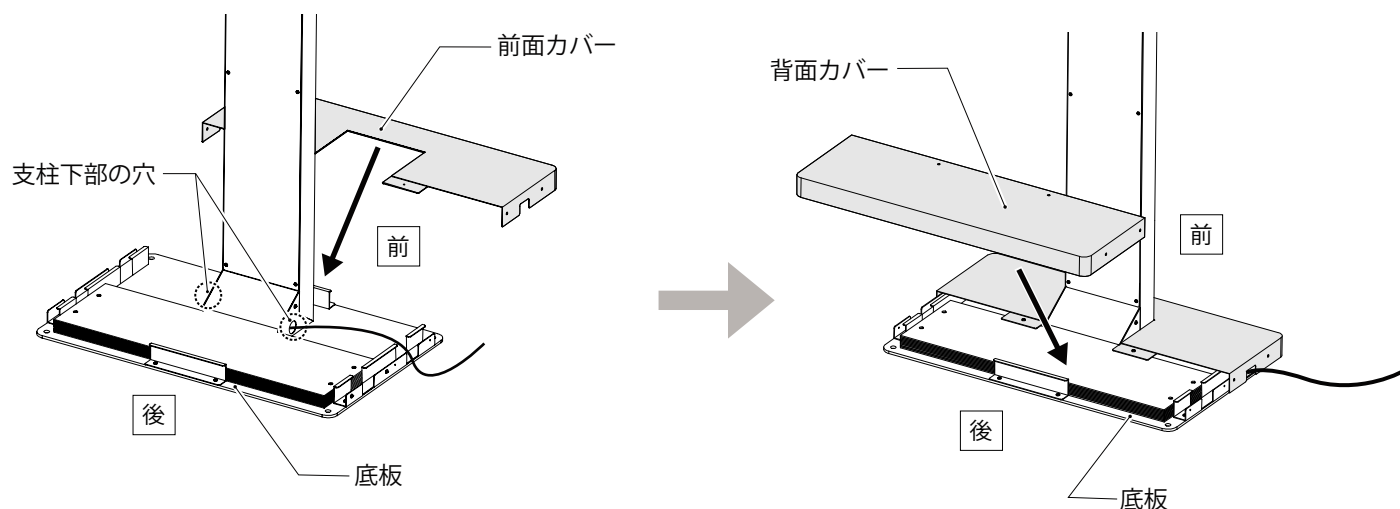
ネジは確実に締め付けてください。金具の落下や本製品の転倒などによる破損・けがの原因となります。

## 「ベースカバー(前 / 後)」を「底板」に取り付ける

1. 「底板」に「ベースカバー(前)」を被せます。
2. 「ベースカバー(前)」に上から「ベースカバー(後)」を被せてください。

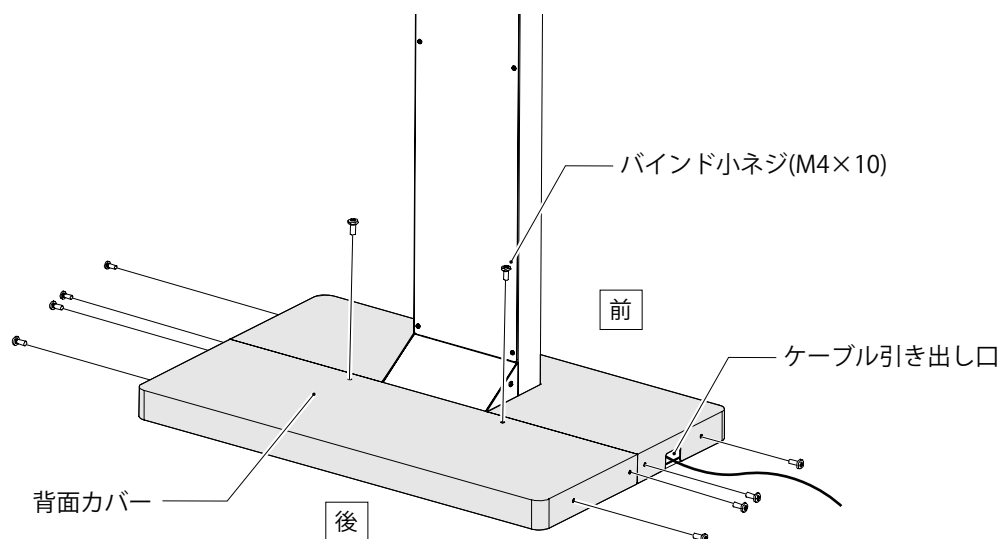
使用する工具

プラスドライバー



ベース金具を取り付ける際は、ケーブルを挟まないように注意して取り付けを行ってください。

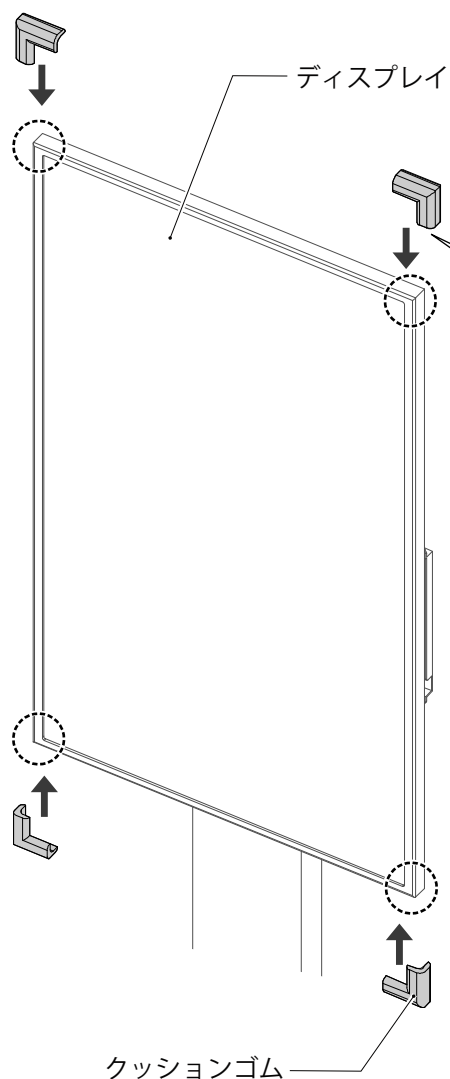
2. P.5の「ベースカバー(前/後)を底板から取り外す」で取り外した「バインド小ネジ(M4×10)」10本を再度「ベースカバー(前/後)」に取り付けてください。



ネジを確実に締め付けてください。部品や金具の落下によるけがの原因となります。

## 「クッションゴム」をディスプレイに取り付ける

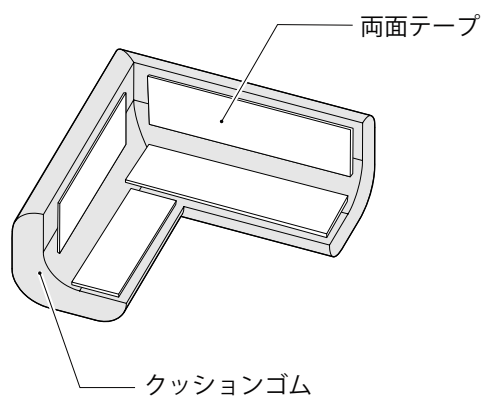
- ディスプレイが窓に衝突した場合の被害を最小限に抑えるために、付属の両面テープを使用して、ディスプレイの4つの角に「クッションゴム」を取り付けてください。



### 両面テープの貼り付け位置

クッションゴム1個に対し、両面テープ4枚をバランスよく貼り付けてください。

※両面テープは必要に応じて、カットしてください。



クッションゴムは窓ガラスとの衝撃があった場合の被害を最小限に抑えるためのものです。本製品使用により発生した損害事故や地震による損害に対して当社が責任を負うものではありません。